

(仮)姥ヶ懐トンネル便り

安藤ハザマ・橋本店・上の組 JV

No. 1



ごあいさつ

志賀地区及び姥ヶ懐地区にお住まいの皆様、初めまして。(仮)姥ヶ懐トンネル工事を施工しています、安藤ハザマ・橋本店・上の組JVの作業所長を務めております、西川と申します。工事の方は、6月に安全祈願祭・着工式を実施後、日々掘削を進めており、順調に進んでおります。大変遅くなってしまいましたが、トンネルの工事概要、そして10月末現在の、トンネル工事の進捗状況についてご報告致します。今後は、定期的に工事の進捗状況等を皆様にお伝えしていければと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

姥ヶ懐トンネル工事概要

工事名 (仮)姥ヶ懐トンネル工事

工期 平成27年 12月 2日 ~ 平成30年 3月30日

発注者 宮城県

工事目的

岩沼蔵王線は、岩沼市相の原の国道4号交差点部から、内陸部を通過して蔵王町向山地区に通じる延長約32kmに渡る一般県道です。沿線に東北自動車道・村田インターチェンジがあり、岩沼・名取地区と県内内陸部、山形方面を結ぶ重要路線として早期の道路改良が望まれています。この中で、特に柴田郡村田町小泉字北赤坂山周辺は、道幅の狭い峠道で、線形も悪いことから整備が急がれています。当工事は、岩沼市志賀字大師から柴田郡村田町小泉字北姥ヶ懐までの岩沼蔵王線の狭隘区間1,909mを改良するものであり、同線の最大の構造物として建設するのが、『(仮)姥ヶ懐トンネル』です。延長1,285mの山岳トンネルで、トンネル前後の県道も624m分を改良し、幅員は全幅8mを確保します。(車線は片側1車線)。又、同トンネルは、道路以外の役割も持ち、上下水道の通り道にもなります。仙南・仙塩広域水道事業所が保有する送水管を敷設することになっており、同工事では、管径1000mmの送水管を1290.3mに渡ってインバート下部に敷設します。

トンネルの概要

施工延長 1,909 m、トンネル延長 1,285 m、道路土工 624 m、舗装工 9,210 m²、本線盛土 58,500 m³、工事用道路 35,000 m³、送水管(φ1000) 1,290.3 m、覆工コンクリート 11,000m³、インバートコンクリート 11,300m³、ロックボルト 18,000本、鋼製支保工 1,277 基、長尺鋼管フォアパイリング 368 本

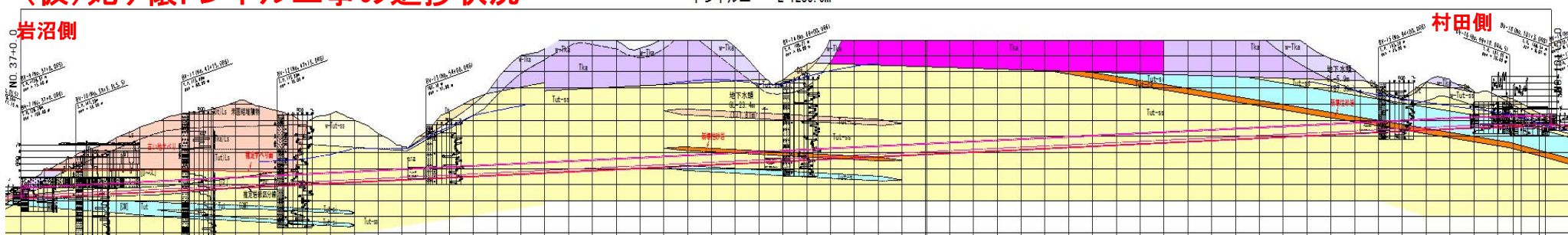


安全祈願祭・着工式



(仮)姥ヶ懐トンネル工事の進捗状況

トンネル工 L=1285.0m



施工延長	← 岩沼側	延長 1,285 m	→ 村田側
掘削工		223m 完了	
インバート工		20m 完了	
防水工			
覆工			
舗装工			

掘削は、岩沼側から村田側に向かって、1日に4mほどのペースで掘り進めています。来年秋の貫通を目指しています。

起点側完成イメージ

岩沼側



終点側完成イメージ

村田側



〒989-2465
 宮城県岩沼市志賀新四十刈1
 安藤ハザマ・橋本店・上の組 特定建設工事共同企業体
 姥ヶ懐トンネル作業所
 TEL 0223-25-4755 FAX 0223-23-3998
 作業所長 西川 篤哉